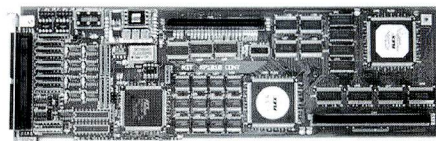


KITはハード屋さん？ いいえ画像屋さんです。

バックナンバーの広告から、KITはPCIボードだけを受託開発する会社と思われる方が多い様です。そこで今回は、TVでも紹介された自社製ソフトの御紹介をします。



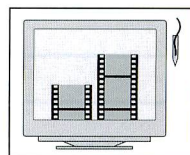
■ 運動解析ソフト

EGStickはマッキントッシュ上で動作する動作解析用のアプリケーションソフトです。特徴としては、従来フレームメモリ、モニタ、コンピュータ、解析ソフトといった専用システムを用いていたものを、パーソナルコンピュータのもつビデオキャプチャー機能により取り込まれた動画像を解析対象とすることで、専用システムを必要とせず、ソフトウェアのみで解析を可能としたものです。

■ 特徴

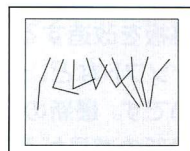
1. デジタイシング

コンピュータに取り込まれた動画像をフレーム単位で表示し、各解析ポイントあるいは関節点をマウスでクリックすることでウィンドウ上の座標点に置き換える機能をいいます。別ソフトのDe-Interlaceを用いることでNTSC方式動画像のモーションJPEGファイルをフィールド単位の動画像ファイルに変換し、最大60コマ/秒の分析が可能です。



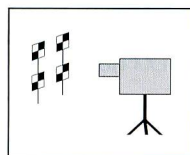
2. 2次元描画処理

デジタイシングされたウィンドウ上の座標値から2次元のワイヤフレーム画像を描く機能のことです。ワイヤフレーム画像は絶対座標表示以外に指定した関節点からの相対座標表示や、各点の軌跡等の表示が可能です。



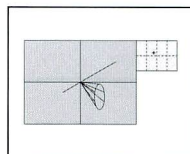
3. カメラ定数処理

各動画撮影のカメラの特性値(画角、焦点距離、方向等)を反映したカメラ定数を決定する機能をいいます。おもに3次元処理をする際に必要となるもので、キャリブレーションといわれる絶対座標の明示される点を映し込みデジタイシングすることが前提となります。



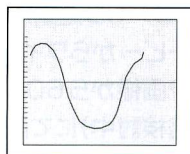
4. 3次元描画処理

2方向のカメラによる動画像からのデジタイシングデータおよびそれらに付随するカメラ定数から3次元座標データを演算し、表示する機能です。2次元描画処理と同様の描画が可能です。ポジションウィンドウでの操作により上下左右のあらゆる方向からの表示が可能で、視点・物体間距離や視点と投影面との距離も設定できます。また、Xy, yZ, ZX各平面への投影画像を2次元的に表示することも可能で、カメラの画角や方向に左右されない2次元描画が可能です。



5. グラフ処理

2次元、3次元各座標データをもとに座標点間スティックの角度、角速度、座標点の速度等をグラフ表示することができます。



各社製品名は各社の商標または登録商標です。

Knowledge
Imaging
Technology

KIT

システム開発専門業社

株式会社

ケーアイテクノロジー

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央19-1 タウンスクエア3階 TEL: 045 (949) 5331 (代) FAX: 045 (949) 5332